

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
医療安全管理学	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	金子 博司 ※
授 業 概 要					
臨床検査技師の責任及び業務の範囲を理解し、感染管理及び医療安全と患者接遇に配慮して適切に検体採取ができる能力が身につけられるよう教授する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療倫理と医療安全について理解する。</li> <li>・臨床検査技師の責任と業務の範囲を理解する。</li> <li>・検体採取に伴う接遇と検体採取について理解する。</li> <li>・検体採取に伴う危険因子を認識し、合併症の発生時に適切に対処できる能力を身につける。</li> </ul>					
実務経験のある教員					
金子博司、藤野良昭、樋口敦子、小池敦、野邊八重子：病院での臨床経験を踏まえ、医療倫理・医療安全、各種検体採取法とそれに伴う注意事項、感染対策について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	医療倫理・医療安全：技師と患者との関わり、コミュニケーションスキル				藤野 良昭 ※
2	医療倫理・医療安全：技師による検査説明				藤野 良昭 ※
3	医療倫理・医療安全：チーム医療への技師の関わり				藤野 良昭 ※
4	医療倫理・医療安全：合併症と医療事故・医療過誤				藤野 良昭 ※
5	採血時の安全管理：採血手技と注意事項、採血に伴う静脈路確保、静脈路への成分採血装置の接続並びに操作				藤野 良昭 ※
6	医療倫理・医療安全：医療事故発生時の対応、患者急変時の対応				樋口 敦子 ※
7	医療倫理・医療安全：医療事故防止対策				樋口 敦子 ※
8	医療倫理・医療安全：感染管理				小池 敦 ※
9	医療倫理・医療安全：法的知識と責任範囲、関係法規、医療事故と損害保険				小池 敦 ※
10	各種検査等の手技に伴う注意事項・安全管理				
11	運動誘発電位検査・体性間隔誘発電位検査に係る電極装着・脱着				野邊 八重子※
12	超音波検査における静脈路からの造影剤注入、直腸肛門機能検査				野邊 八重子※
12	持続皮下グルコース測定				小丸 圭一
13	各種検査における検体採取と注意事項・安全管理				
13	皮膚表在組織病変部からの検体採取				金子 博司 ※
14	鼻腔・咽頭拭い液、喀痰吸引（気管カニューレ内部からの採取含む）				金子 博司 ※
15	消化管内視鏡検査による組織検体の採取、肛門からの検体採取				金子 博司 ※
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人体の構造理解が重要となるため、スライド等で画像を多用しながら講義する。</li> <li>・実技を伴う内容については検体採取シミュレーターを用いて解説する。</li> </ul>					
評 価 方 法					
・定期試験（100％）により評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕 臨床検査学講座 医療安全管理学 諏訪部章 他 医歯薬出版					